

北リアスにおけるQOLを重視した災害復興政策研究シンポジウム

# 東日本大震災からの 地域復興を考える

先進事例から  
考える  
地域復興

## プログラム

14:20 開場

14:30 挨拶 弘前大学学長 佐藤 敬  
主催者挨拶 弘前大学人文学部長 四宮 俊之

第1部 司会 小谷田 文彦 人文学部准教授

14:40~15:10 第1報告 **Disaster Recovery and Reconstruction:  
Research and Practices at Disaster Research Center**  
Joanne M. Nigg University of Delaware Disaster Research Center

15:10~15:40 第2報告 **Recovery and Reconstruction in Santa Cruz:  
Challenges, Processes, and Outcomes**  
Charles Eadie Hamilton Swift & Associate Principal Associate

休憩 10分

15:50~16:10 第3報告 「北海道南西沖地震を経験した奥尻島の20年」  
定池 祐季 北海道大学地震火山研究観測センター助教

16:10~16:30 第4報告 「野田村におけるボランティアの連携：チーム北リアスの活動」  
河村 信治 八戸工業高等専門学校・総合科学科教授・地域文化研究センター長

第2部 パネルディスカッション

16:30~17:25 「東日本大震災からの地域復興を考える」

コーディネーター  
李 永俊 研究代表者・弘前大学人文学部教授

パネリスト  
渥美 公秀 大阪大学大学院人間科学研究科教授  
顧 林生 四川大学・香港理工大学災害復興管理学院教授、神戸大学都市安全研究センター客員教授  
Joanne M. Nigg University of Delaware Disaster Research Center  
Charles Eadie Hamilton Swift & Associate Principal Associate  
定池 祐季 北海道大学地震火山研究観測センター助教  
河村 信治 八戸工業高等専門学校・総合科学科教授・地域文化研究センター長

17:25~17:30 閉会の挨拶 研究代表者 李 永俊

## フォーラムの目的

本フォーラムは、本学人文学部附属雇用政策研究センター長・李永俊教授を代表とする研究プロジェクト「北リアスにおけるQOLを重視した災害復興政策研究-社会・経済・法的アプローチ」(独立行政法人日本学術振興会科学研究費助成事業・基盤研究A・平成24年度~27年度)の研究事業の一環として開催するものです。フォーラムでは、米国と日本の災害から復興を成しとげた先行事例を学び、今からの北リアス地域の復興政策作りに活かしていくことを目標に実施します。東日本大震災からの復興を参加者のみなさまにお考えいただく上で一助になればと思います。皆さまのご参加をお待ちしております。

主催／弘前大学人文学部(科学研究費助成事業：基盤研究(A)研究代表者・李永俊)  
共催／弘前大学ボランティアセンター  
後援／弘前市

お問い合わせ先

弘前大学人文学部附属雇用政策研究センター

TEL.0172-39-3198 (月~金 10:15~15:00)

FAX.0172-39-3189

E-mail eprc@cc.hirosaki-u.ac.jp

URL <http://human.cc.hirosaki-u.ac.jp/eprc/>

科研費  
KAKENHI

参加  
無料

申し込み不要

2013年

3月10日(日)

14:30~17:30

弘前大学60周年記念会館  
コラボ弘大 八甲田ホール 8階